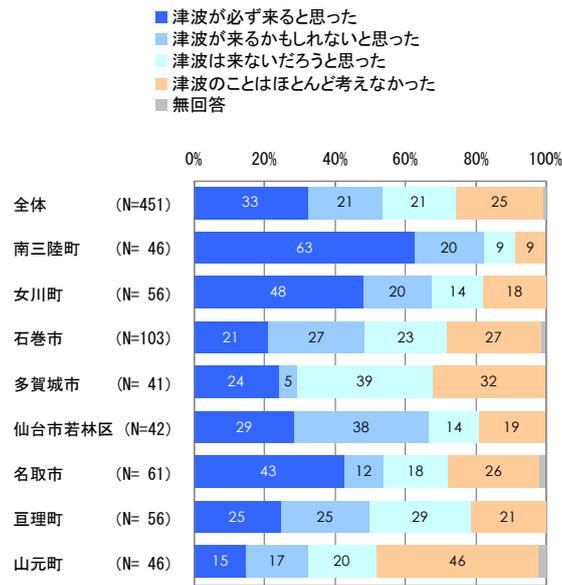


## 「宮城県沿岸部における被災地アンケート」の調査結果の概要

※図中のNは回答者数を示します。  
 ※小数点を省略しているため、合計しても100%にならないことがあります。  
 ※複数回答ができる設問では、回答比率が100%を超えます。  
 ※無回答の値の記載は省略しています。

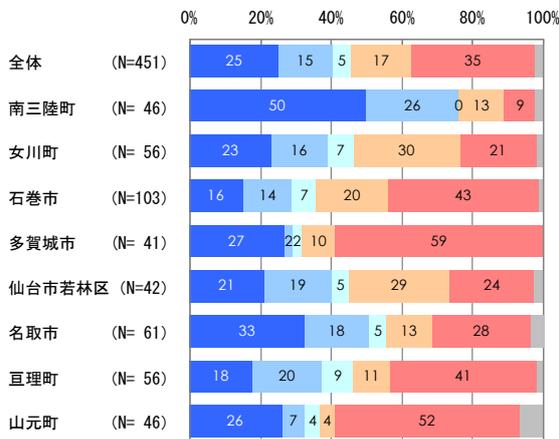
### ▼ 津波に対する危機意識

#### 津波来襲の確信度（地震直後）



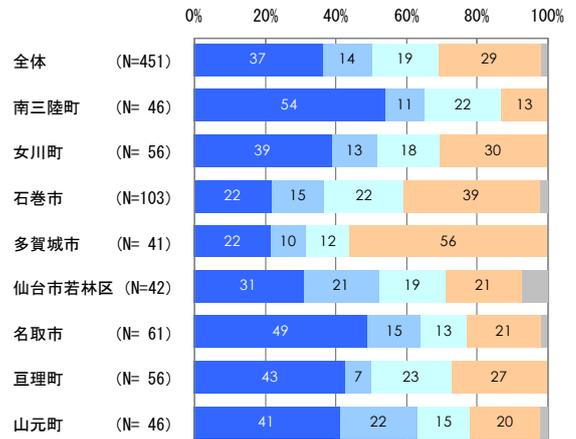
#### 津波到達までの時間的余裕の見通し

- すぐ逃げないと間に合わないくらい早く来ると思った
- 津波は早く来るが、荷物を持って逃げるくらいの余裕はあると思った
- 津波は早く来るが、子どもを迎えに行ったりする余裕はあると思った
- 津波が来るまでには、かなりの余裕があると思った
- 津波が来るとは思わなかった
- 無回答

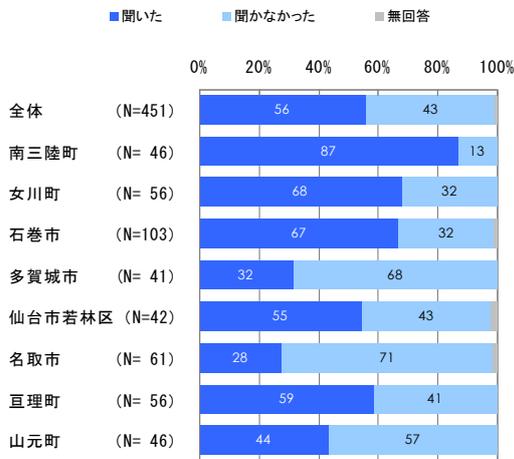


#### 留まった場合の危険予想

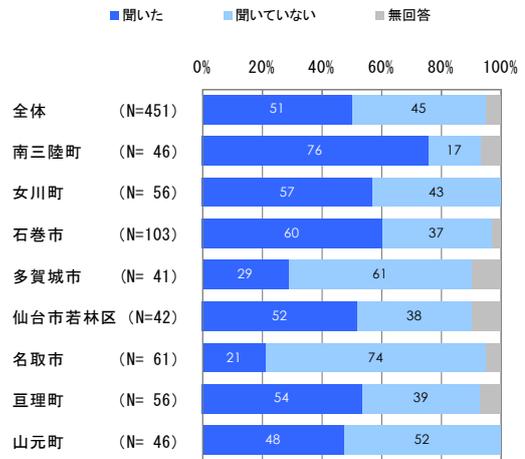
- 非常に危険だと思った
- 危険だと思った
- 少し危険だと思った
- 危険だとは思わなかった
- 無回答



### ▼ 大津波警報の認知

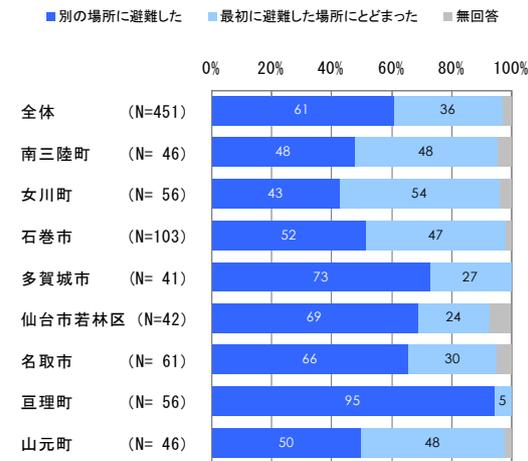


### ▼ 自治体の呼びかけの認知

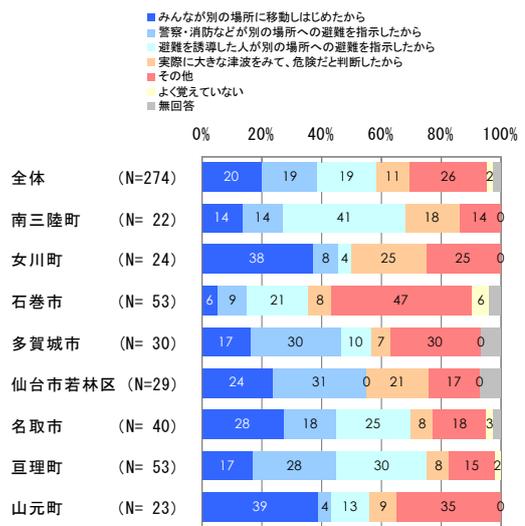


### ▼ 津波危険による避難先の変更

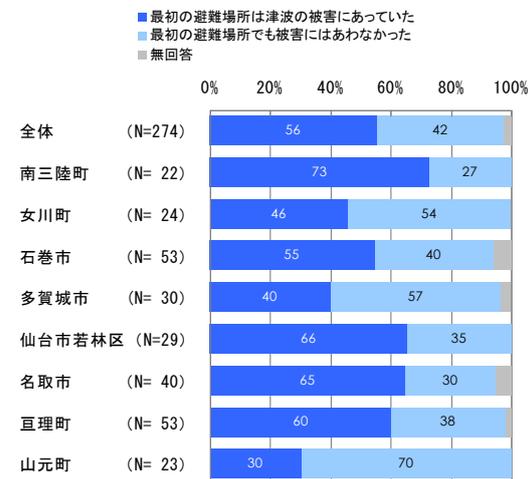
#### 避難場所変更の有無



#### 避難場所変更の理由 (別な場所に避難した人のみ)



#### 避難場所変更の結果 (別な場所に避難した人のみ)

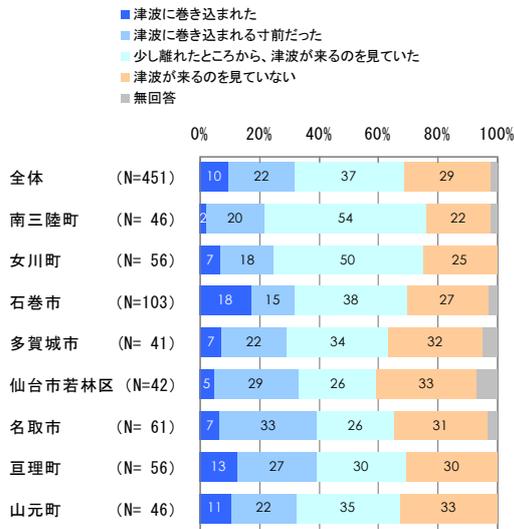


その他

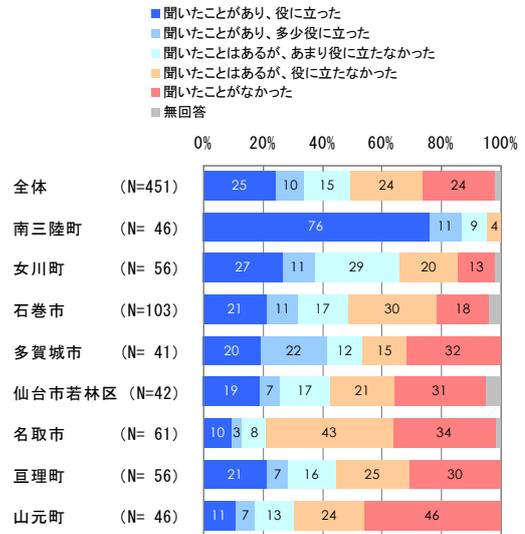
- ・実際に津波に巻き込まれてしまったため
- ・すでに避難所に大勢の人がいたため
- ・家族のいるところへ合流するため
- ・孤立して救助されたため

など

### ▼津波との遭遇



### ▼津波に関する伝承



### ▼ 必要な情報

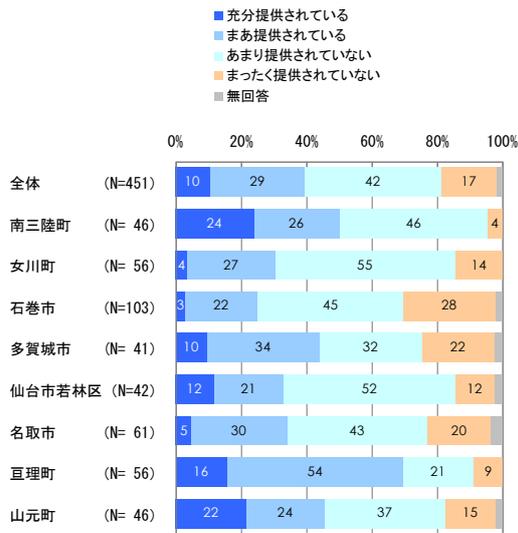
#### 地震発生から数日間



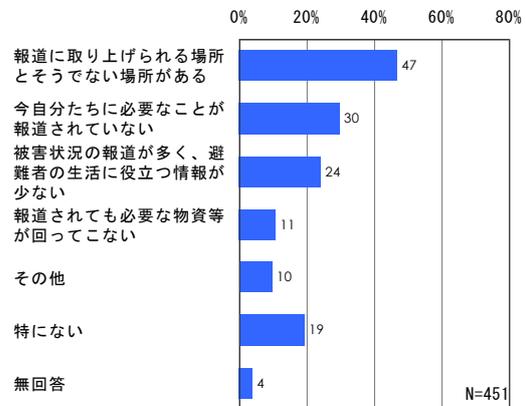
#### 現時点



### ▼ 情報の提供度合



### ▼ 震災に関する報道の問題点

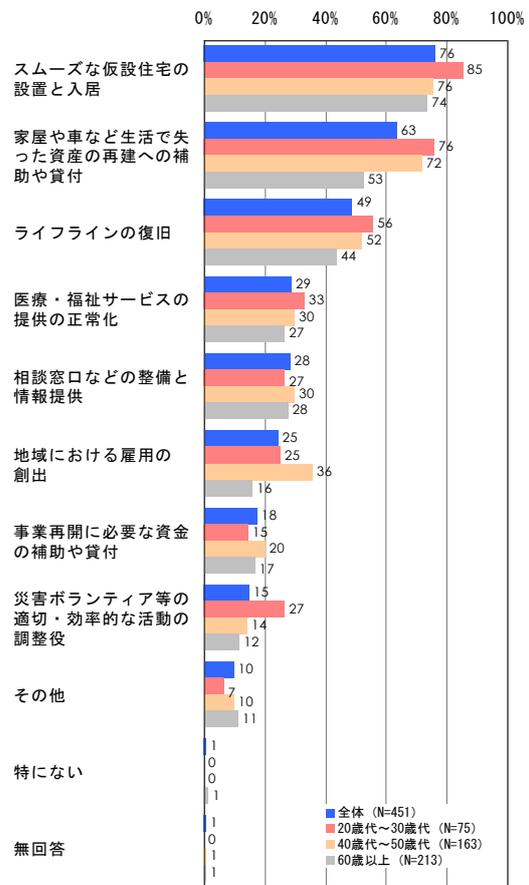


### ▼ 必要な支援

#### ボランティアに望む支援



#### 行政に望む支援



▼ 今後の居住について

何らかの対策をして地域内で居住=55%

